【専門分野】

科目名	共通基本技術Ⅲ （フィジカルアセスメント）	講師名	専任教員	学年	1	履修期	第１学期
単　位	１単位						
時間数	３０時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	フィジカルアセスメントに関する基礎的知識と技術を学ぶ。系統的フィジカルアセスメントの視点、正常・異常の判断、フィジカルイグザミネーションについて学ぶ。						
授業科目目標	１．フィジカルアセスメントの概念と基本手技が理解できる。 ２．バイタルサインの基礎知識が理解でき、測定技術を習得できる。 ３．器官系統別のフィジカルアセスメント技術が理解できる。						
授業計画	１回：フィジカルアセスメントの概念 １）ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメントの関係性 ２）全身の概観 （１）健康歴聴取のための問診（面接）の技術 （２）フィジカルアセスメントに必要な技術 視診・触診・打診・聴診 ２回：身体計測 身長、体重、皮下脂肪厚、腹囲 ３～７回：バイタルサインの観察とアセスメント １）バイタルサインを観察する意義 ２）体温　３）脈拍　４）呼吸　５）血圧　６）意識 ８～９回：呼吸器系のフィジカルアセスメント １）呼吸器系とその役割 ２）呼吸器症状とそのとらえかた 呼吸音聴取の方法、経皮的酸素飽和度の測定） 10～11 回：循環器系のフィジカルアセスメント １）循環器とその役割 ２）循環器症状とそのとらえかた 12 回：腹部のフィジカルアセスメント １）消化器とその役割 ２）消化器症状とそのとらえかた 腸蠕動音聴取の方法と評価 13 回：筋・骨格系のフィジカルアセスメント １）筋・骨格とその役割 ２）筋・骨格の症状とそのとらえかた 14～15 回：頭頸部、脳神経のフィジカルアセスメント １）頭頸部、脳神経とその役割 ２）頭頸部、脳神経の症状とそのとらえかた 15 回：終了試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習						
評価方法	筆記試験（５０％）、課題レポート、技術試験（５０％）						
テキスト	１．系統別看護学講座　専門分野　基礎看護学［２］　基礎看護技術Ⅰ，医学書院. ２．横山美樹：はじめてのフィジカルアセスメント，メヂカルフレンド. ３．系統別看護学講座　専門基礎　人体の構造と機能［１］　解剖生理学，医学書院. ４．竹尾惠子他：看護技術プラクティス，第４版，学研.						
参考書	１．山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック目と手と耳でここまでわかる，医学書院. ２．美田誠二：からだのしくみが目で見てわかる　得意になる解剖生理，照林社.						
学生へのメッセージ	既習の解剖生理と病態生理の知識を理解した上で、フィジカルイグザミネーションの基本技術を実施していきましょう。また、学んだことをしっかりと復習し、主体的にシミュレーターを用いての練習を行いましょう。 【関連科目】解剖生理学Ⅰ～Ⅳ、病理学Ⅰ～Ⅳ、臨床看護総論						